



バイオマスエネルギーの 地域自立システム化実証事業

事業概要説明

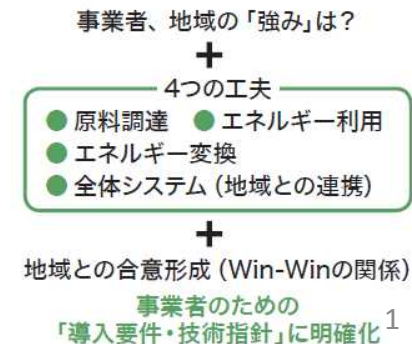
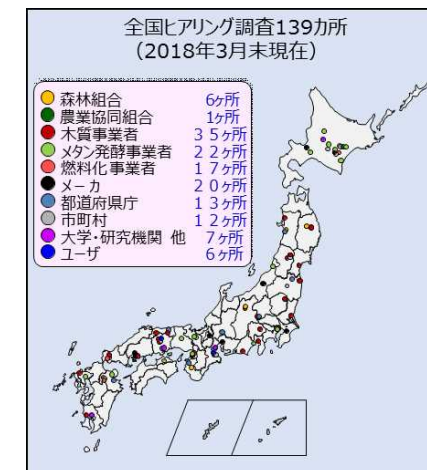
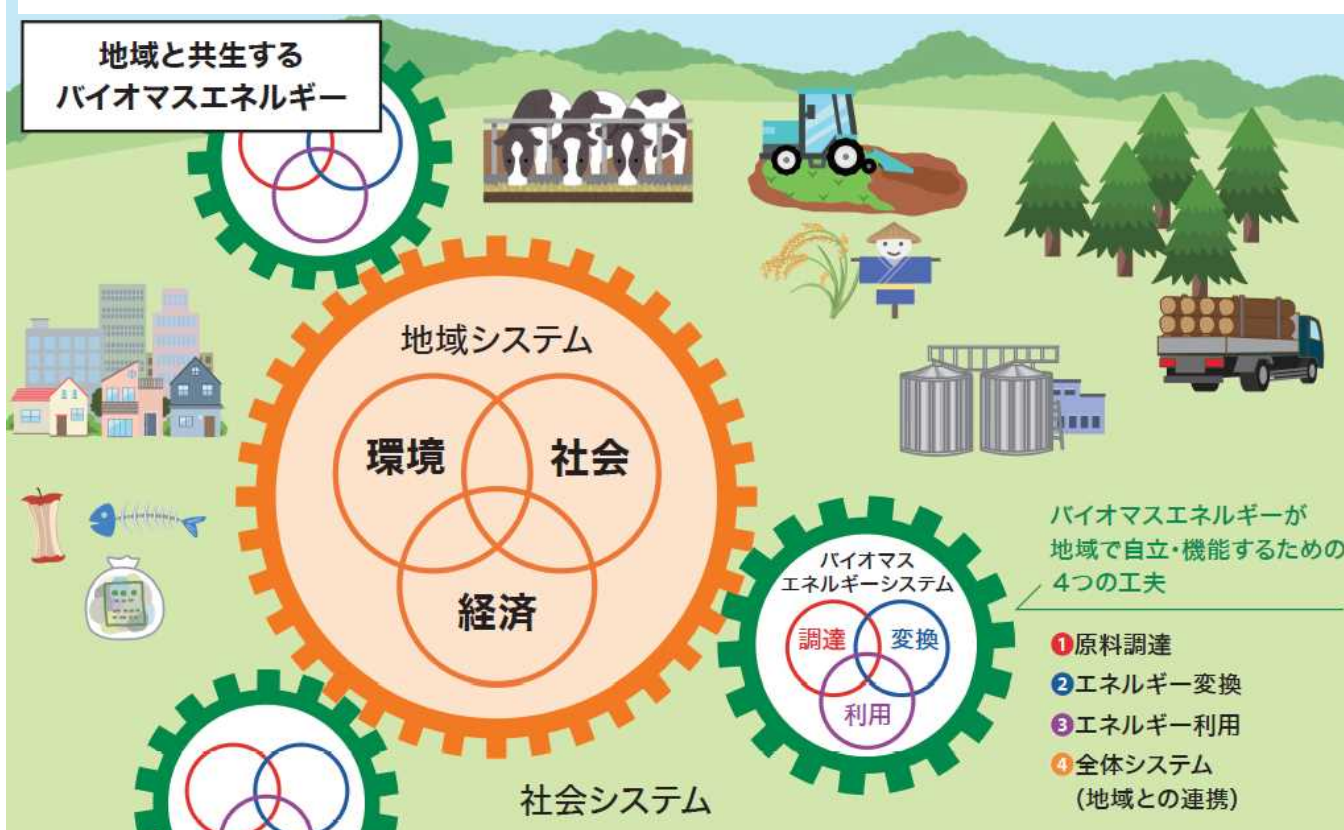
2019年6月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
新エネルギー部 バイオマスグループ

1. 事業概要

バイオマスエネルギーは、再生可能エネルギーの中でも安定的に発電可能で、地域活性化にも寄与する電源として、普及拡大が期待されています。バイオマスエネルギーの利用拡大を推進するためには、熱利用などを効率よく運用するとともに、地域の特性を活かした最適なシステム化が必要です。

NEDOは、**地域の特性を活かした最適なバイオマスエネルギー利用システムを構築**するために、2014年度から「**バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業**」を実施しています。本事業では、再生可能エネルギーの**固定価格買取制度（FIT）**や**補助金**などに頼らないことを念頭においた、**地域自立システムとしての事業性評価（FS）**、**実証事業**、および**技術開発事業**を実施し、その**成果を導入要件や技術指針に反映**させるとともに、これら成果を毎年度公開しています。



2. 研究開発の内容

(1) バイオマスエネルギー導入に係る技術指針・導入要件の策定

- バイオマス種（木質系、湿潤系、都市型系、混合系等）ごとに設備機器の技術指針を策定し、システムとしての導入要件を整理する。

(2) 地域自立システム化実証事業

1. 事業性評価（F S）

- 具体的なバイオマスエネルギー事業を計画されている事業者を公募し、技術指針・導入要件に合致する事業者の事業性評価（F S）を実施する。

2. 地域自立システム化実証

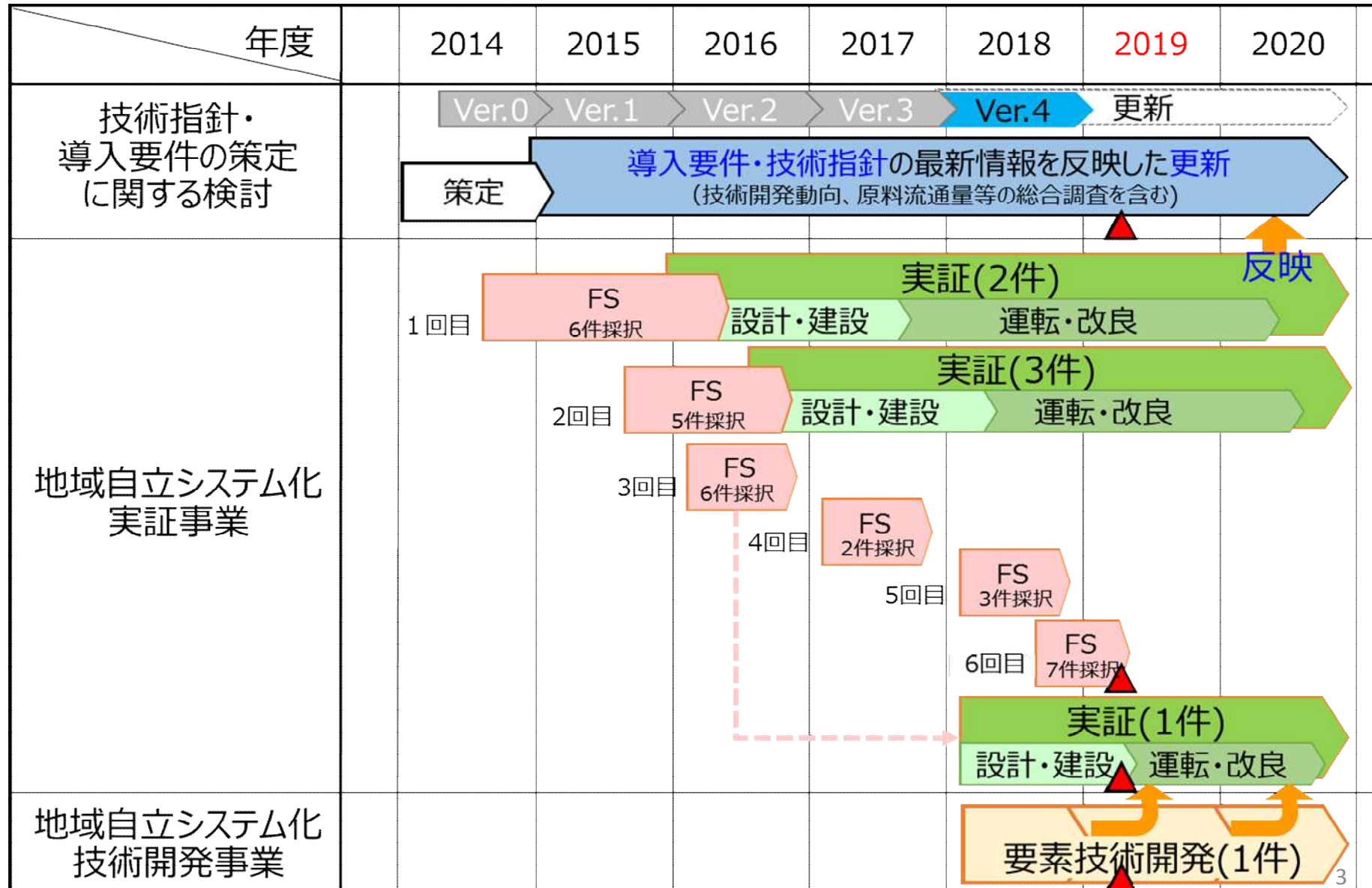
- バイオマス種(木質系、湿潤系、都市型系、混合系等)ごとに、F Sにおいて事業性があると評価できた事業の実証事業を実施する。

(3) 地域自立システム化技術開発事業

- 事業性評価(F S)や実証事業の中に技術開発課題が抽出された場合、必要に応じて要素技術開発を実施する。

3. 全体スケジュール

事業期間：2014年度～2020年度（7年間）
2019年度予算：12.5億円



4. 成果適用のイメージ

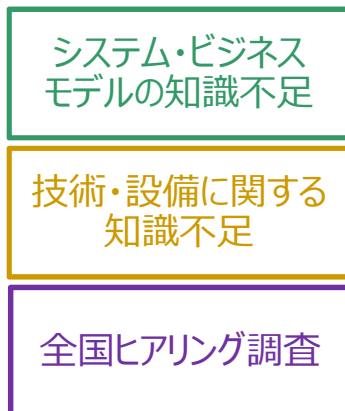
- 目的
 - **健全なバイオマスエネルギー事業**実施のためのガイドラインの策定
 - 国内で**持続可能な**バイオマス利用のあり方の検討
- 方針
 - 経済的に成り立つ要件の明確化と具体的な事業モデルの提示
 - 個別の技術指針、対象地域が**経済的に自立できるシステム**としての導入要件を策定

これまでのバイオマスエネルギー事業の課題

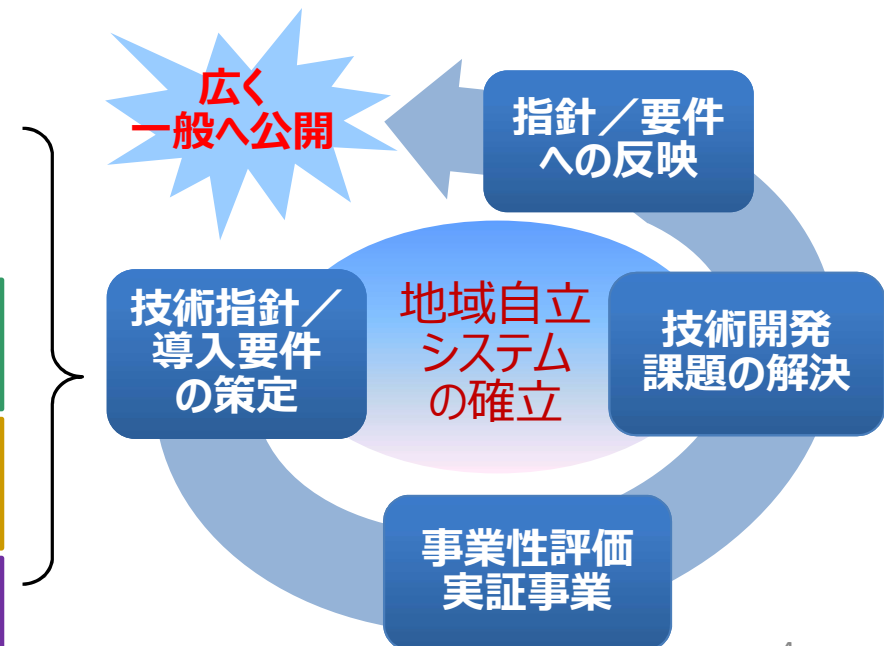
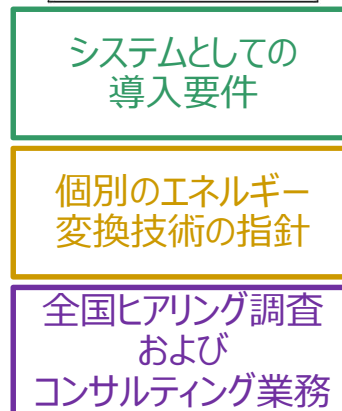
これまでバイオマスに関わりの無い事業者が多数参入



知識不足による失敗例の多発



導入要件・技術指針（ガイドライン）の内容と策定イメージ



5. ご案内



【事前相談】

今回の公募に関する **事前相談** を公募開始まで随時お受けいたします。

お受付については、下記の問い合わせ先にFAXでご連絡ください。（様式自由）

【問い合わせ先】

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）
新エネルギー部 バイオマスグループ

FAX : 044-520-5276

神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー18F